

私の想い

【子どもたちに

思いを馳せて】



大崎町教育委員会
委員
溝口 信男 氏

教育委員を拝命して3期目に入り身の引き締まる思いであります。入学式や卒業式等の学校行事訪問、定例会議、研修会参加等様々な機会を頂いて会合には必ず出会うように努め、色々な情報を共有しながら勉強させて頂いております。

我が子以来久しぶりに学校参観すると、子どもの名簿順が男女別から混合記載、授業は「めあて」「まとめ」など板書の工夫・パソコン・電子黒板が使われている等新しい発見がありました。先生方は毎日多くの煩雑

な課題を抱えながら、子どもたちに寄り添い、日々頑張っている姿を見ると心からの感謝の言葉しかありません。

また、綺麗になった校舎、エアコンが付いた教室、新しい机、いすで勉強している子どもたちは落ち着きがあり凛々しく輝いて見えました。町や議会のお力添えに有難いなあと、思うことでした。

これからは私たちが生まれ育った時代と違い、情報通信技術が急速に進展して、近い将来AI（人工知能）がさらに実用化されて、日本の労働人口の半分が人工知能ロボットに替わり、AI関連の新たな職業が生まれると良く聞きます。子どもたちが夢にしていた職業が、大人になった時にはAIに替わり、なくなっているとも言われています。

子どもたちには次の時代を切り拓いていくために、今年から小学校でのプログラミング教育や5年生から英語が必修化となり、先生方も忙しくなります。町内では学校を支えようとボランティアの方々による子どもたちの登下校の見守り、絵本の読

み聞かせ、陶芸教室、キャリア教育等や学校毎に学校運営協議会委員によるコミュニティ・スクールが運営される等、子どもたちの学習支援環境が町内にできたことは大変素晴らしいことです。

メディアで非行と児童虐待の報道があるたびに「教育の原点は家庭にあります」との言葉を思い出し、やるせない気持ちになります。「家庭」は子どもにとって、唯一心のよりどころであり安らぎの場所だからです。子どもが安心して帰りたいくなる本来あるべき家庭を、追い求め続けて行きたいです。

新型コロナウイルス感染症拡大予防対応で、3月初めに突然休校となり、子どもたちは大切な時間を失い、異例の形での忘れられない卒業式や入学式となりました。これから様々な苦難を乗り越えて、夢や希望に向かって進んでほしいです。

これからの時代、子どもたちが新たな学習に専念できるよう、教育がどのように変わっていくのか関心を持って、大崎の教育をサポートできるように微力ながら務めて参ります。

編集後記

水田の緑も日増しに色濃くなり、万物が躍動する心地よい季節となりました。

一方、世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症は、私たち日常生活スタイルを一変させるとも大きな出来事となっています。今回の問題を機に、遠隔授業やテレワークなど平時にはなかなか取り組めないことを、各所試行錯誤しながら実施されているようでは、感染症拡大を悲観的だけに捉えるのではなく、このような状況下でも可能な取組みを模索する契機とし、これからも一人ひとりが出来ることを着実にを行い、一日も早い終息と新たな未来を迎えられるよう願うばかりです。

ここに議会だよりをお届けします。これからも皆様に親しまれる紙面づくりに努めて参ります。

(中倉広文)

議会広報聴常任委員会

- | | | | |
|-----|------|------|------|
| 委員長 | 児玉孝徳 | 副委員長 | 稲留光晴 |
| 委員 | 小野光夫 | 委員 | 吉原信雄 |
| 委員 | 中倉広文 | 委員 | 諸木悦朗 |

発行責任者 大崎町議会議長 宮本昭一